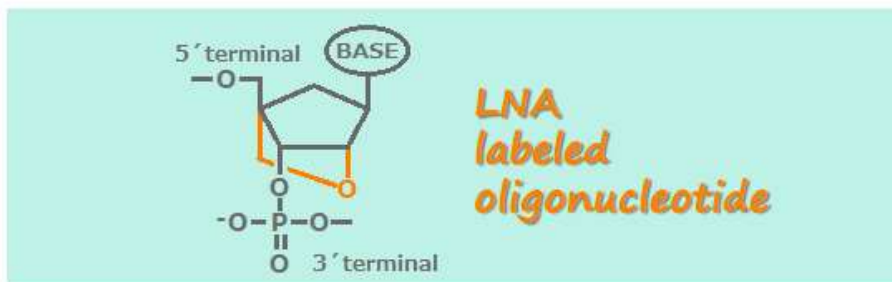


『LNA 修飾オリゴヌクレオチド』



Locked nucleic acid (LNA) 修飾オリゴヌクレオチド合成

受注開始から数か月ですが、既にたくさんのご好評をいただいています！
LNA に関するお問い合わせ、LNA 修飾オリゴヌクレオチド合成のご注文を承ります。

LNA オリゴヌクレオチド

⇒[詳細はこちら](#)

▶ LNA とは

LNA は、RNA の 2'位の酸素原子と 4'位の炭素原子をメチレンで架橋し、リボースを固定した架橋型人工核酸です。まさに「ロックされた核酸」の名前のとおり、リボースが C3'-endo 型で架橋されています。コンフォメーションの自由度をロック（らせん構造を固定化）することで、標的に対して非常に安定な二重鎖を形成することができます。

▶ LNA の特性

- ・ Tm 値アップ、標的との結合親和性アップに有用。
(Tm 値上昇は、導入数や位置、配列等に依存。
LNA 数を増すにつれて 1 塩基あたりの Tm 値上昇は小さくなる。)
- ・ ヌクレアーゼ耐性を持つので、アンチセンスや siRNA 等にも有用。
- ・ RNaseH 活性なし。
- ・ 配列中や末端に配置可能。各種プローブへの挿入も可能。

▶ アプリケーション

アンチセンス、マイクロアレイ、In situ ハイブリダイゼーション、リアルタイム PCR、ノーザンブロットング 等

今回は、LNA 修飾オリゴヌクレオチドを使用した実験例をご紹介します。

お問い合わせ先

株式会社日本遺伝子研究所 合成事業部
TEL : 022-388-9748 (直通) FAX : 022-388-9740
E-mail: oligo@ngrl.co.jp